

2023年11月16日

フィクション# 2311

Title パワーハラスメント対策

Target パワーハラスメントのリスク

ベストブレイン株式会社

【テーマ（ターゲット）】

パワハラに関する研修・トレーニングは、かねてから多数のご依頼をいただいております。

今回は、

パワハラのリスク（パワハラへの警戒心の醸成）
をテーマに取り上げましたが、それ以外のテーマには、
パワハラを疑われないための実践的なノウハウ
加害者または被害者へのヒアリング要領
があります。

【研修の特長】

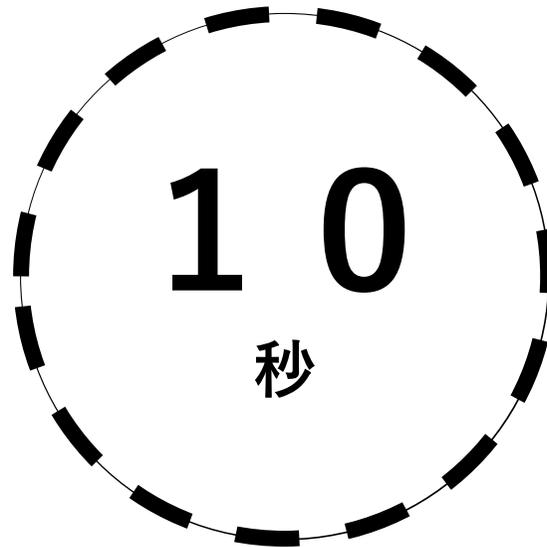
パワハラのリスクに関する研修の特長は、公的な定義や概念を最初に確認した上で、リスクに関する実践的なポイントをミニクイズ形式で出題する点です。

今回は、ミニクイズ5問を取り上げました。

【ミニクイズⅰ】

身体的な攻撃という類型に属するパワハラは、相手の胸ぐらをつかむ、殴るなど暴行罪等が典型です。

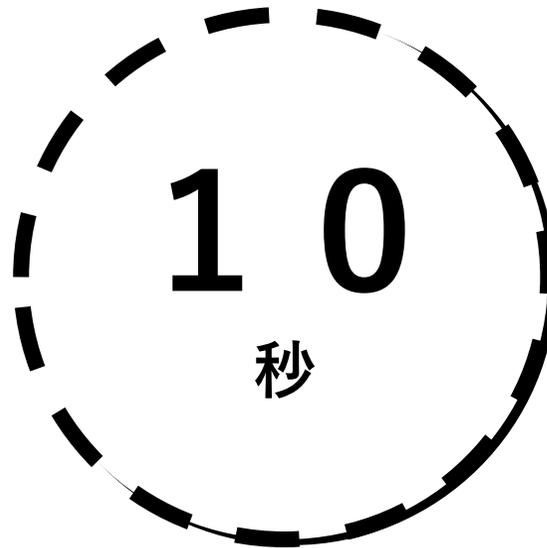
こうしたパワハラのうち相手の体に触れていないのに、暴行罪といった犯罪の嫌疑までを受けるおそれがある言動は何でしょうか？



【ミニクイズⅡ】

裁判所は、パワハラを認定したか？

「やる気がないのであれば、会社を辞めるべきだと思う」というメールを本人ばかりでなく部門の同僚にもCCで送信・共有したことが裁判沙汰になった！



【ミニクイズⅢ】

パワーハラでないとの地裁の認定に納得できない被害者は、高裁に訴えました。高裁の結論は？



この裁判で学びたい事実！

たとえパワハラでなかったとしても、問題ある言動は責任を負うという事実。

この事実を考えた場合、パワハラであるか否か、“シロかクロか”を考えるよりも、自分の言動に問題がないかを考える方が（グレーゾーンに踏み込んでいないかを警戒した方が）、パワハラを疑われないようにするためには現実的といえます。

【ミニクイズiv】

パワハラの実行者個人が負う責任を4つ挙げるとしたら？



【回答・解説】

社会的な責任（報道、“晒し”）

社内的な責任（懲戒処分等）

民事的な責任

刑事的な責任

注）複数の責任を重ねて負うこともあります。

ポイント) パワハラ要因≡加害者に潜む3つのリスク
～パワハラを疑われないための3つのチェックポイント～

1 “思い込み（勘違い）”

例えば、信頼関係があるからパワハラにはならないなど、相手の感情を勘違いしている

2 “抱え込み”

特定の社員に対する指導・育成上の懸案を一人で抱え込んでしまいストレスを膨張させ、理性のハードルを下げてしまうこと

3 “言い訳”

パワハラの加害者にありがちな言い訳

【ミニクイズv】

パワーハラの行為者にありがちな言い訳とは？

(複数回答、少なくとも3つ)



【回答・解説】

1 知らなかった・・・

(パワーハラだと思われるなんて)

2 * * * * *

3 * * * * *

4 * * * * *

END

今回のテーマに関するご質問または今後のテーマに関するご要望は、ホームページの問合せフォームか担当のコンサルタントにメール等でお願ひします。